



2023年(令和5年)度

環境経営レポート

運用期間：2023年1月～2023年12月



R3年10月 アスファルト・コンクリート舗装工事実施



株式会社ヒラキ産業

2024年4月4日発行

優良性産廃処理業者制度に基づく認定産廃処理業者（平成21年1月認定:現在継続中）

目 次

○環境理念・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○事業活動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
事業所名、所在地及び連絡先、事業内容、事業の規模、組織図	
○各種 表・・・・・・・・・・・・・・・・	3
事業規模	
エネルギー使用量	
産業廃棄物収集運搬量	
産業廃棄物処分量	
一般廃棄物収集運搬量	
一般廃棄物処分量	
製品の販売量・製造量（RC-40 土壌改良土）	
○許可一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	4
産業廃棄物収集運搬業	
産業廃棄物処分業	
一般廃棄物収集運搬業	
一般廃棄物処分業	
○保有車両・処理能力 ・・・・・・・・・・・・・・・・	5
○当年度及び中期環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・	6
環境目標の実績	
産業廃棄物搬入量及びリサイクル率等	
○環境実績（二酸化炭素排出量・電力量・軽油・水使用量）・・・・・・・・	7
リサイクル製品現状報告・	
環境実績（グリーン購入量）	
○当年度環境活動計画の取組結果と評価、次年度取組内容・・・・・・・・	8
○環境関連法規への違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・・・・・・・	9
代表者による全体評価と見直しの結果	
○受託した産業廃棄物の中間処理受託量・・・・・・・・・・・・・・・・	10
産業廃棄物再資源化等	

【環境理念】

2024年4月4日

当社は、産業廃棄物収集運搬及び処分業の事業活動において、SDG sにある、つくる責任つかう責任は、受託廃棄物のリサイクル化95%以上の維持し、水使用量の削減を推進し、気候変動の対策として、電気・燃料の使用量削減を推進します。

産業廃棄物をより、有効に再利用し、リサイクル化に積極的に取り組み、人と自然の調和ある環境社会を目指し、地球と地域のより良い環境作りに貢献します。

また、「全国産業資源循環連合会 環境自主行動計画」に基づき、率先して二酸化炭素削減及び地球温暖化対策に取り組みます。

【環境経営方針】

株式会社 ヒラキ産業は、環境経営に積極的に取り組むために、事業活動のあらゆる分野で環境に配慮した行動に努め、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷とコストの低減に取り組みます。

◇環境経営への取り組みとして、特に次の事項に取り組みます。

- ①地球温暖化防止のため、省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ②環境への負荷の状況を熟知し、問題点の改善に努めます。
- ③産業廃棄物の分別を徹底し、受託した廃棄物を最大限再資源化し、リサイクルを推進し、循環型社会に貢献します。
- ④コンクリート・汚泥をリサイクルし製品として販売して、廃棄物量の削減、売上向上に努めます。

◇環境関連法規を遵守します。

◇環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

2007年 12月 1日制定
2024年 4月 4日最終改訂
株式会社 ヒラキ産業
代表取締役 布田 博志

組織の概要

◇事業概要
株式会社 ヒラキ産業は、解体工事に伴い発生した廃棄物の処分業及び収集運搬業を行っており、解体から処分までのトータルサポートを行っております。

◇事業者名
株式会社 ヒラキ産業
代表取締役 布田 博志

◇所在地及び連絡先
本社事務所 〒755-0091 山口県宇部市大字上宇部字上安田385番地
西岐波事業所 代表地番：山口県宇部市大字西岐波字辻村253番地1
がれき等破砕場 代表地番：山口県宇部市大字西岐波字吉澤576番地
リサイクル工場 代表地番：山口県宇部市大字西岐波字木床20510番地1

TEL：0836-21-6424 FAX：0836-21-6414
E-mail：k-hiraki@mug.biglobe.ne.jp
環境管理責任者： 布田 博志
連絡担当者： 布田 千絵

- ◇事業内容
- ・産業廃棄物収集運搬業
 - ・産業廃棄物処分業(中間処理・最終処分)
 - ・一般廃棄物収集運搬業
 - ・一般廃棄物処分業(中間処理)
 - ・建設用再生資材の販売

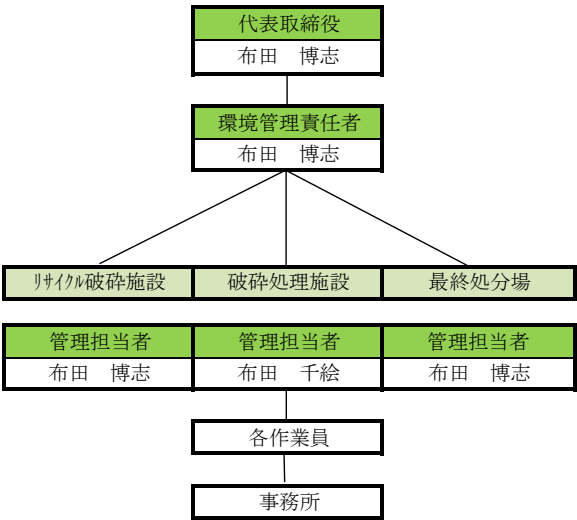
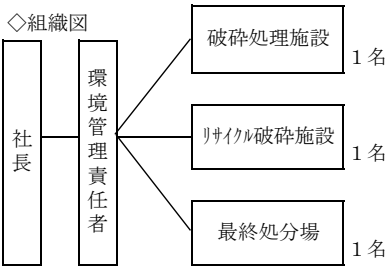
◇事業の規模
資本金 1,000万円
社員数 10名
設 立 昭和59年10月19日

◇事業年度 1月1日～12月31日(2020年度より変更)

環境管理組織

◇認証・登録範囲 全組織・全活動

◇組織図



役 割	担当者	その役割、責任及び権限を定め
代表取締役	布田 博志	環境管理責任者を任命し、報告を受け、全体の評価、見直しを行う。
環境管理責任者	布田 博志	代表者に代わってシステムの確認を行う。環境への取り組み計画、取り組み状況推進・見直しをする。
各処分場責任者	布田 博志	省エネ運転管理・設備管理・軽油使用量及び車輛点検管理。環境への取り組み状況推進、見直しをする。
	布田 千絵	

(全社)		対象期間(年度の期間:1月～12月)						:自動演算するセル		
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	単位	備 考
売上高		106	95	150	148	235	125	74	百万円	
処理量		14,878	11,212	19,746	21,805	30,596	17,575	6,412	t	
収集運搬量		3,624	3,611	6,351	724	553	1,078	495	t	
従業員数		10	8	8	10	10	10	10	人	
床面積		324	324	324	324	324	324	324	m3	

		対象期間(年度の期間:1月～12月)							単位	環境負荷の要因となる主な活動・設備等(具体的に)
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		
エネルギー 使用量	電力1 敷地内	2,844	2,888	2,808	2,693	2,702	2,699	2,693	kWh	LED、高圧(クレーン)
	電力2 破砕施設	2,249	2,131	2,014	1,957	1,842	1,859	1,960	kWh	LED
	電力3 事務所	18,218	17,783	12,950	13,529	14,515	15,485	13,683	kWh	エアコン(2019年製x2)、LED、事務機器
	ガソリン	0	0	0	0	0	0	0	L	
	軽油	14,505	13,591	15,159	16,680	22,397	25,718	29,087	L	
	灯油	90	45	0	0	0	307	0	L	事務所の暖房用
kg-CO2 排出量	液化石油ガス(LPG)	6	7	4	1	0	0	0	m3	事務所の給湯用
	電力1 敷地内	1,482	1,505	1,463	1,403	1,408	1,406	1,403	0.521	(kg-CO2/kWh)
	電力2 破砕施設	1,172	1,110	1,049	1,020	960	969	1,021	0.521	(kg-CO2/kWh)
	電力3 事務所	9,492	9,265	6,747	7,049	7,562	8,068	7,129	0.521	(kg-CO2/kWh)
	ガソリン	0	0	0	0	0	0	0	2.32	(kg-CO2/L)
	軽油	37,423	35,065	39,110	43,034	57,784	66,352	75,044	2.58	(kg-CO2/L)
	灯油	223	112	0	0	0	764	0	2.49	(kg-CO2/L)
	液化石油ガス(LPG)	19	22	11	2	0	0	0	3.00	(kg-CO2/kg)
	合 計	49,810	47,079	48,381	52,508	67,714	77,559	84,598		
kg-CO2 の割合%	電力1 敷地内	3.0%	3.2%	3.0%	2.7%	2.1%	1.8%	1.7%	%	
	電力2 破砕施設	2.4%	2.4%	2.2%	1.9%	1.4%	1.2%	1.2%	%	
	電力3 事務所	19.1%	19.7%	13.9%	13.4%	11.2%	10.4%	8.4%	%	
	ガソリン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	%	
	軽油	75.1%	74.5%	80.8%	82.0%	85.3%	85.6%	88.7%	%	
	灯油	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	%	
	液化石油ガス(LPG)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	%	
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	%	

		対象期間(年度の期間:1月～12月)							単位	備考	
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			
受託した一 般廃棄物の 中間処理	可燃ごみ				5.9	0.3		0.1			
	廃プラスチック類				1.1	1.2	2.1	0.3	t	破砕→セメント(代替え燃料)	
	木くず・草				17.4	182.1	152.1	56.8	t	破砕→堆肥化	
									t		
	合計	0.0	0.0	0.0	18.5	183.2	154.2	57.1	t		
再資源化率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
受託した産業廃棄物	産業廃棄物 収集運搬	コンクリート・アスファルト			340	183	717	266	t		
		がれき類			105	67	64	40	t		
		ガラス陶磁器くず			34	17	17	10	t		
		石膏ボード			4	5	7	13	t		
		汚泥			67	59	147	52	t		
		木くず			104	167	72	55	t		
		紙くず			4	2	3	4	t		
		ゴムくず			0	0	0	0	t		
		廃プラスチック			32	43	44	50	t		
		繊維くず			1	0	0	0	t		
		金属くず			4	7	6	5	t		
		非飛散性成形板			10	2	0	0	t		
		石綿含有産業廃棄物			0	0	0	0	t		
		合計	0	0	0	703	553	1,078	495.0	t	
	産業廃棄物 中間処理 (受け入れ)	がれき類				2,970.29	2,687.46	5,996.76	4,503	t	破砕(コンクリート・アスファルト含む)
		ガラス陶磁器くず				92.78	131.35	68.94	61	t	破砕
		石膏ボード				37.95	51.83	45.54	43	t	破砕
		汚泥				18,084.31	27,004.68	10,892.88	1,312	t	薬剤処理
		木くず				300.80	516.67	391.88	312	t	破砕
		紙くず				28.41	22.25	17.91	11	t	破砕
廃プラスチック					123.71	137.12	128.34	134	t	破砕	
繊維くず					17.60	12.54	10.78	14	t	破砕	
金属くず					21.97	26.19	19.37	15	t	破砕	
ゴムくず					0.00	0.00	0.15	0	t	破砕	
合計	0.00	0.00	0.00	21,677.82	30,590.09	17,572.55	6,406.2	t			
最終処分	非飛散性成形板				11.25	5.18	2.23	5.80	t	自社が受け入れた安定型埋立	
	石綿含有産業廃棄物				0.00	0.00	0.30	0.30	t	自社が受け入れた安定型埋立	
	ガラス陶磁器くず				0.10	1.10			t	自社が受け入れた安定型埋立	
	廃プラスチック				2.00				t	自社が受け入れた安定型埋立	
	金属くず				0.30				t	自社が受け入れた安定型埋立	
	合計	0.00	0.00	0.00	11.25	5.18	2.53	6.1	t		
中間処理後の 産業廃棄物	自 社 最 終 処 分	再資源化(有償)	がれき類(コンクリート・アスファルト含む)			2,970.29	2,687.46	5,996.80	4,503	t	破砕後、路盤材化
			汚泥			18,084.31	27,004.68	10,892.88	1,312	t	薬剤処理後、路盤材化
			金属くず								
	2 次 委 託	小計	0.00	0.00	0.00	21,054.60	29,692.14	16,889.68	5,815.0	t	
		リア				31.82	22.37	29.65	19.6	t	セメント原料
										t	
		小計	0.00	0.00	0.00	31.82	22.37	29.65	19.6	t	
		マル				242.16	522.98	393.40	299.5	t	破砕→代替え燃料
						283.07	269.81	252.93	212.0	t	破砕→セメント(代替え燃料)
		小計	0.00	0.00	0.00	525.23	792.79	646.33	511.5	t	
		管理型埋立				0.00		0.00		t	管理型最終処分(委託)
						2.03	4.81	4.25	8.1	t	管理型最終処分(委託)
						3.16				t	管理型最終処分(委託)
						0.00		0.00	0.0	t	管理型最終処分(委託)
小計	0.00	0.00	0.00	17.41	18.23	20.09	20.7	t	管理型最終処分(委託)		
合計	0.00	0.00	0.00	22.60	23.04	24.34	28.8	t			
合計	0.00	0.00	0.00	21,634.25	30,530.34	17,590.00	6,374.86	t			
リサイクル率(排熱利用含む)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.8%	99.9%	99.8%	99.5%	%		

		対象期間(年度の期間:1月～12月)							単位	備考	
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			
目次発生	焼却	可燃ごみ(紙くず・ビニール類)				30	12	26	24.00	Kg	→セメント(代替え燃料)
製品の製造量	RC-40 土壌改良土				1,090	893	2,394	1,781		Kg	
					11,335	15,885	6,408	772		m3	
		0	0	0	12,425	16,778	8,802	2,553		m3	
製品の販売量	RC-40 土壌改良土				2,306	1,090	1,240	2,288		m3	
					8,585	18,041	6,570	1,188		m3	
		0	0	0	10,891	19,131	7,810	3,476		m3	
水使用量=排水		水使用量				107		44	27	m3	排水は水路

注1: 以下のシートは作成せず、上記表に直接記入する・・・【事業の規模】【自社発生の一一般産業廃棄物排出量等】【受託した一般産業廃棄物】【水使用量】【資材等使用量】
注2: 【化学物質使用量】【総製品生産量、総商品販売量】のシートは作成不要・・・【対象なし】のため
注3: エネルギー(電力・燃料)の月々の使用量はエクセル【元データ・目標対実績と判定】参照

収集運搬量	495	3%
中間処理	6,406	38%
中間処理後の産業廃棄物の出荷	6,375	38%
製品の販売量	3,476	21%

許可一覧

◆産業廃棄物収集運搬業許可

産業廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）												その他	
都道府県 及び 政令都市	積替 保管	許可年月日 及び 有効年月日	許可番号	廃 プラ スチ ック	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず・ コン クリ ート く ず	燃 え 殻	汚 泥	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	ゴ ム く ず	鋇 さ い	が れ き 類	ば い じ ん	積替保管施設の 所在地及び面積 許可の条件	
	有無																
山口県	●	令和6年1月11日 令和11年1月10日	第03516013180号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	積替保管※1 許可の条件なし	

（これは、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上12種類

※1 積替保管施設

	所在地	面積	保管上限	高さ	保管品目
I	宇部市大字西岐波字西高野 6512番、6513番	498㎡	523.2㎡	3m	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず
II	宇部市大字上宇部字赤岸 144番地の3、字西ヶ原460	345㎡	270.4㎡	屋内・ 容器保管	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず、燃え殻、鋇さい、ばいじん

◆産業廃棄物処分業許可

優良

産業廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）											
都道府県 及び 政令都市	許可年月日 及び 有効年月日	許可番号	事業 区分	廃 プラ スチ ック	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず・ コン クリ ート く ず	燃 え 殻	汚 泥	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	ゴ ム く ず	が れ き 類		
山口県	令和5年2月10日 令和12年1月10日	第03546013180号	中 終	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

（これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

◆一般廃棄物収集運搬業許可

一般廃棄物収集運搬業				許可項目（事業の範囲）	
都道府県 及び 政令都市	保管 場所	許可年月日 及び 有効年月日	許可番号	一般廃棄物・家庭系一時多量 ごみ (紙くず・木くず・繊維くず・草・ 廃プラスチック類・伐採木・がれき類)	
	有無				
宇部市	● ※2	令和6年4月1日 令和8年3月31日	(家) 第407号	●	

※2 保管場所の所在地：宇部市大字西岐波字吉澤576番地 面積：125㎡
：宇部市大字西岐波字吉澤576番地3 面積：72㎡

◆一般廃棄物処分業許可

一般廃棄物処分業				許可項目（事業の範囲）	
都道府県 及び 政令都市	保管 場所	許可年月日 及び 有効年月日	許可番号	事業系一般廃棄物 (紙くず・木くず・繊維くず・草・ 廃プラスチック類・伐採木・がれき類)	
	有無				
宇部市	● ※2	令和6年4月1日 令和8年3月31日	(家) 第307号	●	

※2 保管場所の所在地：宇部市大字西岐波字吉澤576番地 面積：125㎡
：宇部市大字西岐波字吉澤576番地3 面積：72㎡

◆建設用再生資材の販売（山口県認定リサイクル製品）

都道府県 及び 政令都市	許可年月日 及び 有効年月日	許可番号	認定製品・品目名	用途
山口県	平成15年2月24日 令和9年3月31日	第110号	RC-40・再生砕石	路盤材等
山口県	平成18年3月28日 令和9年3月31日	第208号	土壌改良土・改良土	盛土材

※ 製造加工場：宇部市大字西岐波字木床20510番地の1

保有車輛

種類	仕様	台数	
収集運搬車輛	10tダンプ	2台	2021年11月 10t岩車 新車 1台購入
	4tダンプ	2台	
	2tダンプ	1台	
	4tユニック	2台	
重機	PC-210	1台	2020年12月 新古車 1台購入 2021年 6月購入
	PC-200	1台	
	PC-130	1台	2021年9月 PC-35 1台購入 2022年 1台 売却
	PC-138	1台	
	PC-35	2台	

処理能力

処理方法	処理方式	種類	処理能力	処理施設	
破碎 (移動式を含む)	圧縮破碎式	がれき類(コンガラ・アスガラ含む)	393t/日	宇部市大字西岐波字木床20510番地1	
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	393t/日		
	自走式	廃プラスチック	287.2t/日	宇部市大字西岐波字吉澤576番地	
		金属くず	928t/日		
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	824t/日		
		紙くず	246.4t/日		
		木くず	451.2t/日		
		繊維くず	98.4t/日		
		ゴムくず	426.4t/日		
		がれき類	1,216t/日		
薬剤処理	固化式	汚泥	384t/日	宇部市大字西岐波字木床20510番地1	
埋立	安定型埋立	廃プラスチック 金属くず ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	埋立容量 25,801m ³	宇部市大字西岐波字辻村253番地1	残容量 2,142.239 m ³
		ゴムくず がれき類	埋立容量 5,730m ³	宇部市大字西岐波字西高野6520、6521番地	残容量 3,552.011 m ³

当年度及び中期環境経営目標

中期環境経営目標

項 目	単位	2020年度 (基準値)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	52,508	51,983 (1%減)	51,458 (2%減)	50,933 (3%減)	50,408 (4%減)
	kg-CO2/千t	2,421	2,397 (1%減)	2,373 (2%減)	2,348 (3%減)	2,324 (4%減)
電力使用量	kWh	18,179	17,997 (1%減)	17,815 (2%減)	17,634 (3%減)	17,452 (4%減)
	kWh/千t	838	830 (1%減)	821 (2%減)	813 (3%減)	804 (4%減)
軽油	L	16,680	16,513 (1%減)	16,346 (2%減)	16,180 (3%減)	16,013 (4%減)
	L/千t	769	761 (1%減)	754 (2%減)	746 (3%減)	738 (4%減)
水使用量	m³	50.0	49.5 (1%減)	49.0 (2%減)	48.5 (3%減)	48.0 (4%減)
	m³/千t	2.3	2.3 (1%減)	2.3 (2%減)	2.2 (3%減)	2.2 (4%減)
総廃棄物受託量	千t	21.69	22.12 (2%増)	22.34 (3%増)	22.56 (4%増)	22.77 (5%増)
受託廃棄物のリサイクル率	%	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持
RC-40販売量	m³	2,306	2,352 (2%増)	2,421 (5%増)	2,490 (8%増)	2,537 (10%増)
土壌改良土販売量	m³	6,967 (2020年年度目標 値より)	7,106 (2%増)	7,315 (5%増)	7,524 (8%増)	7,664 (10%増)
地域コミュニティへの貢献	リサイクル製品改良土による野菜作り・挑戦					

※二酸化炭素排出係数：中電の2020年度の排出係数 0.521kg-CO2/kWhを適用

※環境目標の単位は、「総廃棄物受託量実績当たりの原単位」と「実績絶対値」の併用とする。

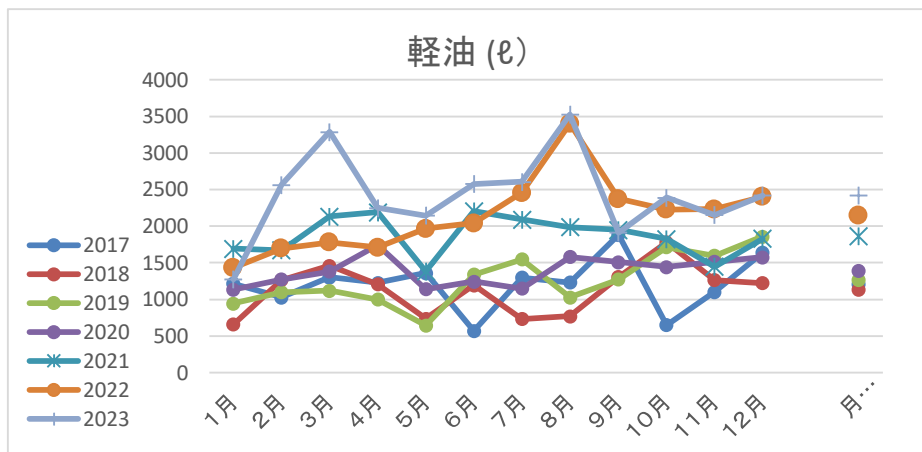
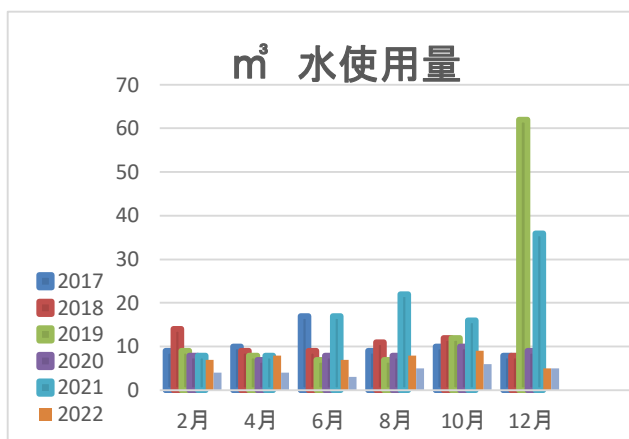
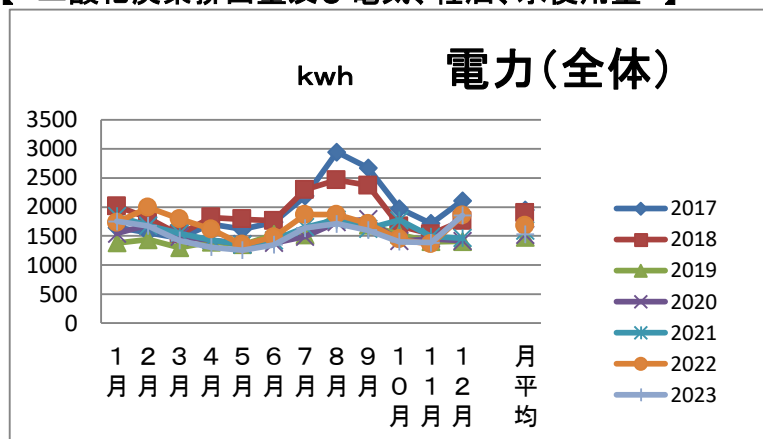
※2020年度は汚泥の処理依頼が急増し土壌改良土の販売量も増大したため2020年度目標値をそのまま据え置いた。

環境経営目標の実績

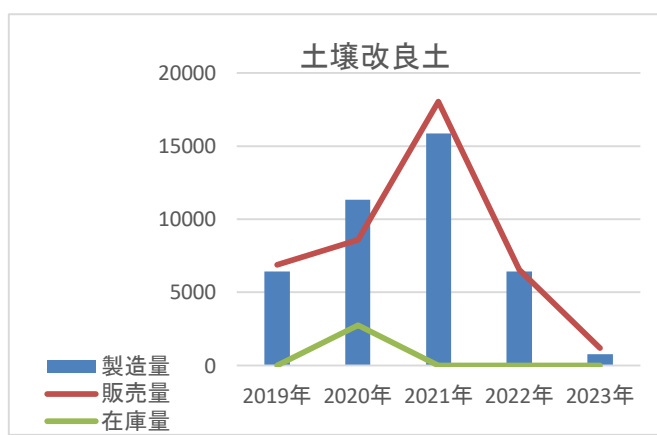
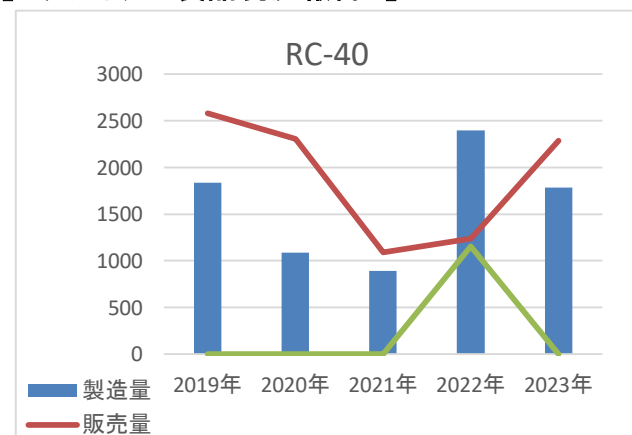
2023年1月～2023年12月の取組期間の基準値に於ける実績は以下の通りであった。

	区分	2023年度 (目標値)	2023年度 (実績値)	評価
総廃棄物受託量	(1千t)	22.12	6.41 71%減	×
二酸化炭素排出量	排出量(kg-CO2)	51,983	84,598	×
	目標値比(%)	—	63%増	×
	受託量比(kg-CO2/千t)	2,397	13,198	×
	目標値比(%)	—	5.5倍	×
電力使用量	kwh	17,997	18,336	△
	目標値比(%)	—	2%増	△
	受託量比(kwh/千t)	830	2,861	×
	目標値比(%)	—	3.4倍増	×
軽油	ℓ	16,513	29,087	×
	目標値比(%)	—	76%増	×
	受託量比(ℓ/千t)	761	4,538	×
	目標値比(%)	—	6倍増	×
水使用量	m³	50	27	○
	目標値比(%)	—	46%減	○
	受託量比(m³/千t)	2.3	4	×
	目標値増減(m³/千t)	—	1.8倍増	×
受託廃棄物のリサイクル率	%	95%以上維持	99.5%	○
RC-40販売量	(m3)	2,352 (1%増)	2,288 (3%減)	×
土壌改良土販売量	(m3)	7,106 (1%増)	1,188 (83%減)	×
取組目標： 地域コミュニティへの貢献	リサイクル製品改良土による野菜作り・挑戦			○

【 二酸化炭素排出量及び電気、軽油、水使用量 】



【 リサイクル製品現況報告 】



当年度環境経営活動計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の0.5%削減

取組目標	活動項目	評価・次年度の取組
電力使用量の0.5%削減	夏季における軽装、冬季における重ね着等服装の工夫をして冷暖房の使用を抑える。(クールビズ、ウォームビズ)	☐ 今年度は、夏時期は目標をクリアできたが、冬時期に目標値より使用量が増えていた。しかし、ほぼ目標値並だったので、エアコン1機のみ稼働やエアコンの温度設定の徹底、また、冬は巻きスカート巻きつける等の防寒対策が成功していると思う。引き続き同じ対策を実行するとともに、夏は充電式の小型扇風機の活用や、冬はカイロを活用し背中、足などに貼る等を実践する。
	エアコンの設定温度(冷房28℃・暖房20℃)を決め、実行	☐
	休憩時の消灯、エアコンOFF	☐
化石燃料の0.5%削減	アイドリングストップ	☒ 今年度は、燃料の絶対値使用量は76%増え、受託量比は6倍増になりました。収集運搬量も前年度より減少し、搬入量も減少しているが軽油量は増加した。時間に余裕があるため、それぞれの処分場の普段でできないような場所まで、清掃、片付け、整理した。その際、重機、トラックを頻繁に使用したため、燃料の使用量が増加した。数字の上では出てこない結果だが、お客様にはとても綺麗になったと言われた。来年度はエコドライブとアイドリングストップの徹底はもちろん日々の自主点検・整備等も怠らず確実に目標が達成できるように削減に努める。
	エコドライブ	☐
	自主点検・整備	☐

2. 水使用量の0.5%削減

取組目標	活動項目	評価・次年度の取組
節水	必要以上に水を使用しない	☐ 今年度は2重チェック等を徹底的に行い、削減を心掛けた。使用量は前年比46%減になった。引き続き2重チェックは行なっていく。
	蛇口の締め忘れがないようにする	☐
	水漏れの確認	☐

3. 製品及びサービスにおける環境配慮

取組目標	活動項目	評価・次年度の取組
RC-40販売量1%増	2,352㎡販売(前年度より1%増)	☒ 実績は2282㎡販売で目標比3%減だった。今年度は前半から夏にかけて搬入が多くあり、RCの製品造りが進んだため、目標には届かなかったが、もう少しで達成できそうだった。来年度は確実に販売目標が達成できるよう頑張りたい。なお、今年も引き続きコンクリート搬入が増えるよう、新規のお客様にもFAX等でチラシ等を配布したい。RC販売のチラシも配布する。
土壌改良土販売量1%増	7,106㎡販売(前年度より1%増)	☒ 実績は1188㎡販売で目標比83%減だった。汚泥の受託量が去年よりも劇減し、目標に全く届かなかった。来年度は今の所、汚泥搬入の見込みが何社もあるため、目標達成できるようにしたい。また去年同様、過去に処分した会社などにピンポイントで営業をしようと思う。来年度こそはRC、改良土ともに目標を達成させたい。

4. 地域コミュニティへの貢献

取組目標	活動項目	評価・次年度の取組
野菜作り	自社リサイクル製品の土で畑を作り、環境にやさしい野菜を作る	☐ 今後も継続して実施

5. リサイクル率の向上 95%以上

取組目標	活動項目	評価・次年度の取組
廃棄物の発生抑制	使用済み用紙の裏面利用	☐ 今年度は産業廃棄物総受託量減少したため、再資源化量も目標をクリアできなかったがリサイクル率は去年より上がった。実績は前年度より21%減少した。RC-40の販売量は前年度より14%も増加したが目標はクリアできなかった。要因としては、汚泥の搬入量が多く、前半は土壌改良土の販売に集中していたことと、コンクリートの搬入量は前年度より倍増したが、年末に大口搬入があったため販売量まで結びつかなかった。土壌改良土は搬入量も去年の半分以下だったので、販売量も去年の半分以下だった。来年度は広告等を上手く使い、既存のお客様だけでなく、新規のお客様のコンクリートの搬入量を増やして、土壌改良土、RCともに、バランスよく販売し目標を達成したい。
	両面印刷・両面コピーの徹底	☐
再資源化量	22.06千t(前年度より1%増)	☒
リサイクル率	95%以上を維持	☐
リサイクルの推進	受託した産業廃棄物の分別	☐
	再資源化、リサイクル	☐

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

- ・ 受審事業者に適用される主な環境関連法規等は廃棄物処理法及びフロン排出抑制法でありそれらの遵守状況を自己チェックした結果、環境関連法規への、違反等はありませんでした。
- ・ 関係当局より違反の指摘及び、利害関係者からの訴訟等も過去5年以上ありません。

主な関連環境法規	遵守結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
PRTR法	
浄化槽法	
山口県循環型社会形成条例	
フロン排出抑制法	

代表者による全体評価と見直し・指示

二酸化炭素排出量の総量は、前年比14%増加し、受託量比設定も3倍に増加した。詳細としては、燃料目標比6倍増、電力使用量目標比も3.4倍増となった。排出量比・受託量比はどちらも増加しており、廃棄物受託量が前年比3割程度とかなり少なかったためであるといえる。電気使用量は、1か月ずつ見ていくと、ほぼ目標を達成しているため、引き続き、設定温度徹底、ウォームビズ、クールビズ、エアコン1機のみ使用の徹底を実践していく。燃料費は増加していた。

受託量・収集運搬量ともに去年より激減しているが、それぞれの処分場の整理整頓をしたため、トラック・重機を多く使用し、燃料使用量が増えた原因といえる。ただ、お客様からは綺麗になったねと声をかけていただくことが多く、これからの仕事に繋がるものだと思う。

今年度も再資源化(リサイクル)率は95%以上を維持できた。

ただ、RC-40・土壌改良土の販売目標が達成できなかった。RC-40は年度初めから夏頃まで、搬入も増え販売量も伸びてきたが、秋から年末にかけて搬入が減り、RC販売量目標に惜しくも届かなかった。来年度は確実に目標達成できるように、既存のお客様はもちろん、新規のお客様からのコンクリートがら受入が伸びるよう、営業・広告宣伝などを考え必ず実践するよう指示した。

土壌改良土は搬入量が去年の10分の1ほどとなり、目標に全く届かなかった。来年度は搬入の予定があるが、満足することなく、今まで搬入したことのある、大手会社・収集運搬の会社等にピンポイントで営業をかける。来年度はRC-40・土壌改良土ともにバランスよく目標を達成したい。

グリーン対象品に該当する物は100%購入し、社会への貢献活動を推進する。取り組みの結果、産業廃棄物総受託量は継続的に増加させ、搬入者及び弊社が一体となり、今後もリサイクル率向上に工夫を凝らしていくよう指示した。

受託した産業廃棄物の中間処理受託量

【産業廃棄物再資源化等】

単位:t

	がれき類 (コンクリート・アスファルト含)	汚泥	木くず	石膏ボード	廃プラスチック他
2022年度産業廃棄物 再資源化等	5,996.8	10,892.9	391.9	45.5	245.5
2023年度産業廃棄物 再資源化等	4,503.4	1,312.3	312.0	42.8	235.0

